

貯法：室温保存
使用期限：容器・外箱に記載の使用期限内に使用してください。
注意：取扱い上の注意の項参照

承認番号	(61AM)816
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

商品番号 N18

漢方製剤

コタロー 劇薬 指定医薬品 桂枝加朮附湯 エキス細粒

〔組成・性状〕

*〔1〕組成

本剤9.0g中
日局 ケイヒ.....4.0g 日局 カンゾウ.....2.0g
日局 シャクヤク.....4.0g 日局 ソウジュツ.....4.0g
日局 タイソウ.....4.0g 炮附子末.....1.0g
日局 ショウキョウ...1.0g

上記の混合生薬より抽出した桂枝加朮附湯の水製乾燥エキス5.3gを含有する。

添加物としてステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖、プルラン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムを含有する。

〔2〕製剤の性状

本剤は茶褐色～黄褐色の細粒で、特異なおいがあり、味は甘苦い。

識別コード：N18

〔効能・効果〕

冷え症で痛み、四肢に麻痺感があるもの、あるいは屈伸困難のもの。

神経痛、関節炎、リウマチ。

〔用法・用量〕

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

〔1〕慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 1 体力の充実している患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
- 2 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者〔心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。〕

〔2〕重要な基本的注意

- 1 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。プシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

〔3〕相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
カンゾウ含有製剤 グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。（「重大な副作用」の項参照）	グリチルリチン酸は、尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

〔4〕副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1 重大な副作用

偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2 その他の副作用

過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。その他：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。

〔5〕高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

〔6〕妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれる炮附子末の副作用があらわれやすくなる。〕

〔7〕小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。〔本剤には炮附子末が含まれている。〕

〔取扱い上の注意〕

〔1〕漢方製剤は吸湿しやすいので、湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

特に、ポリ瓶の場合はキャップを強く締めて保管してください。

〔2〕本剤は天然の生薬を原料としていますので、ロットにより色調等に異同がありますが、効能その他に変わりはありません。

*〔包装〕

コタロー桂枝加朮附湯エキス細粒
ポリ瓶 500g
分包 3.0g×168包（504g）
3.0g×42包（126g）

〔資料請求先〕

小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部
〒531-0071
大阪市北区中津2丁目5番23号

製造発売元



小太郎漢方製薬株式会社

大阪市北区中津2丁目5番23号